

「TSUGARUSHAMISEEN × WADAIKOOO」

若手実力派三味線奏者《新田昌弘》と和太鼓プレイヤー《しんた》が
和の心のサウンドを情熱に乗せてお届け！



TSUGARUSHAMISEEN WADAIKOOO
2013年7月21日(日) 14:00 開演(13:30 開場)
チケット料金: 一般 2,000円 18歳以下 1,500円(税込・全席指定)
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

同日開催! 11:00開演
Work shop
《三味線と太鼓のワークショップ 同日開催!!》募集!

日本の伝統【津軽三味線】そして、力強さが魅力の【和太鼓】。聴いて触って、津軽三味線と和太鼓の魅力実感の1時間!!

時 間 11:00 開講 (10:30 開場)
対 象 小・中・高校生 (チケット購入者対象)
受講料 無料
申込方法 窓口・電話・FAX・メール
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号を記入の上お申込みください。
申込先 青葉の森公園芸術文化ホール
定 員 30名

出演の津軽三味線奏者、新田昌弘さんにインタビューしました!

「普段演奏する時に心がけていること」

気持ちを込めたり情景をイメージして演奏すること。
無意識に手は動いて演奏してはいますが、やはり気持ちの情緒をコントロールする事が大事です。思った事が言葉に出る様に、感じた事が演奏に出るんです。
伝統曲は「嵐しさ、滄悼の念、哀愁」というイメージで演奏します。他、楽しい曲は楽しいイメージを心に湧き立てて演奏します / 表現をするのは繊細ですがそれをいかにお客さんに伝える為に自分の気持ちもコントロールする事を心がけています。

「演奏を通して一番伝えたいこと」

津軽三味線の楽器が「津軽三味線の奥が深いテクニックの魅力」と、「実はとてもユニークで明るく楽しい楽器」この二つを伝えて行きたいと思います。
僕がおこなっている「キッズ課外授業」は、東京から北海道まで来てから思いつきました。最初は知人のお母さんが「子ども達にも三味線の音楽を聴かせたい!」という事からいくつかの学校で演奏しました。その時から、子ども達の純粋な反応が僕にはとても新鮮でした。又、質問などをすると僕自身のほうが勉強になる事もあり本当に开心しました。
そして、回数を重ねるうちに現在は三味線を知っている、聴いた事がある、という方がいるのですが、今の子ども達こそ「未来の三味線の普及」と思い使命感を感じて、今も続けています。まずは三味線の音色を聴いて感じてもらう事が大事です。ね。
あと子どもが大好きなので僕にとっても嬉しいかぎりです。

「津軽三味線の魅力とは」

沢山ありますが演奏的に一つは「弦を叩いて演奏する楽器」という所です。小さい音と大きい音の幅の表現を自分自身で表現する所が好きです。どちらも技術を要するし、大きい音はスポーツ的ですし小さい音は芸術的です。
また、フレット「音階の印」がないので音を自由に表現出来ます。押したら単純にドになる訳ではなくドとド#の間も表現出来ます。その個性の表現できる繊細さが魅力ですね。
三味線だからこそこんな曲を... という所も魅力です。
昔は「三味線は三味線らしい曲だけ」という伝統もあったのですが現代になって自由に好きな曲を演奏出来る時代になりました。様々な曲を弾いたとき喜んで頂ける人が沢山いますね。きやうーばみゆびみゆを弾いたら子供達が踊ってくれました。
その後何回も弾きましたが...
三味線でやるからこそ新しい音色で楽しいですね。
人が喜ぶ事が出来る楽器。150年という少ない歴史の伝統楽器だからこそ又新しい伝統を作っていく。
そんな魅力を津軽三味線には感じています。

「今回の青葉の森公園芸術文化ホールでのコンサートのみどころ」

もちろん伝統曲と和太鼓の独奏はみどころです /
まずは真髓を聴いていただき、そのあと津軽三味線と和太鼓のセッションもみどころです /
セッションの中はバトルや、掛け合い。又、手拍子でお客さん掛け合うシーンに注目してください /
和太鼓プレイヤーしんたさんとのコラボについてコメント
彼の和太鼓はカッコいい / というのもびっぴりだけど、とてもユニークで面白いキャラクターなので、彼の演奏だけではなくトークも楽しみにしててください /
又、和太鼓をドラムの様に演奏するシーンも必見です /

「公演を楽しみにしているお客様へ最後に一言!」

まずは津軽三味線の伝統の技を聴いていただき、繊細な音色を楽しんでください。そして、太鼓とのセッションでは新しい伝統音楽で感動を届けたいと思います。三味線がギターのように / 太鼓がドラムの様に / 二人のセッション / 楽しみにしててください!



新田昌弘 (津軽三味線)



しんた (和太鼓)